



川口市立戸塚中学校
46期2学年通信 No.14
令和6年4月26日(金)

小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くための一つの道

先日、ある資料を探していたら、古新聞のあるコラム欄に次のようなことが載っているのを見つけました。

『プロゴルファーによると、ゴルフはとにかく正しいフォームを固めることという。自己流では、不格好なばかりか決して上達しない。安定した、いい球を打つための合理を追求した結論が正しいフォームすなわち「型」という。どんなスポーツ、芸術、芸道にも型はあるが、合理追求の結晶ともいうべきそれは、なぜか常に美しさを備えている。

だからこそ初心者にはまず型を教えているのだが、その意義は初心者に理論的に説明するのは難しい。従って頭ごなしに教える。人間道には無論どんなスポーツより多くの型がある。これらは、こどものうちに問答無用で叩きこまねばならないが「個の尊重」とか「自由」の氾濫によりすっかり押し流された感がある。その結果、自己流の生き方がベストと言わんばかりとなった。』(抜粋)

「個性」はとても大切なことです。そして、「型」も大切なこと。このバランスが難しいんです。だからこそ、このバランスが取れた時に大きな力を発揮できるんだと思います。

スポーツに例えてみると、強い選手ほど、くりかえしくりかえしの基礎練習を大切にしています。そして、基礎練習を適当にやっている選手はというと…。

これは学習にも言えることですね。基本(単語、計算、漢字など)を繰り返しやるのが、上達することに繋がっていきますね。どんな応用問題も基礎・基本の上に成り立ちます。日々の生活もどうでしょう? 荷物の整理整頓や給食の準備、掃除の時間など、基本をしっかりと行うことでいろいろな行事などもうまく行くのではないのでしょうか。日々の生活、学習を今一度、見直そう。

「型をしっかりと覚えたあとに、型破り になれる。」

職員自己紹介パート11

個人情報保護の観点から、HP 上では氏名は伏せております。

ご了承ください。